

こだわりカフェの運営で仕掛ける

商店街、そしてまち全体の活性化

まいまい堂

オーナー  
横川知子さん



横川知子さん

ふるさとの商店街にかつての活気を

江戸時代に城下町として栄え、明治以降は“商業のまち”として賑わいを見せた福知山市。市街地の旧城下町エリアには当時の名残の商店街が今も残りますが、時代の流れとともに衰退の一途をたどり、ほとんどが“シャッター商店街”の様相を呈しています。新町商店街も、その一つ。かつては北近畿いちばんの繁華街だったというこの商店街に活気と笑顔を取り戻そうと、カフェ「まいまい堂」が平成20（2008）年12月、オープンしました。

オーナーの横川知子さんは「自分の生まれ育った商店街がだんだん寂しくなっていくのを見ながら、何とかしたいと思っていました。誰かがはじめないと廃れていく一方。じゃあ、ここに若い人たちが来てくれるような場所をつくってみようと思って」と、開業の動機を語ります。

横川さんの実家は江戸時代から続く呉服店で、江戸時代よりこ新町商店街で営業をはじめました。やがて家業は洋服店に変わり、その後駅前に出店。以降、40年近く空き店舗となっていたこのスペースが、横川さんの起業によって甦ることになります。



「まいまい堂」の外観

経験・自信・人脈を得て夢の実現へ

高校生の頃から「いつか自分のお店を持ちたい」との夢を抱きつつ、大学に進学し、卒業後は一般企業に就職したという横川さん。大学は食物科、職場ではマーケティングや調理器具関係の業務に携わってはいたものの、“普通の”道を歩んできたといいます。しかし約14年前に「やりたいことをやろう」と思い立ち、ふるさと福知山に帰ってきました。

帰郷後ほどなくして、福知山駅前のショッピングセンター内に新店を出店していた喫茶店の運営を任せられます。そこでは喫茶店経営のノウハウを学ぶとともに、ギャラリーの開設をはじめ、他店のオーナーたちと協力してダンスフロア

商店街を活性化

女性起業

や文化教室の企画・運営等も経験。大変ながらも充実の日々を送っていました。ところがある日突然、そのショッピングセンターが倒産します。思いがけず職を失った横川さんでしたが、ここでの6年間の経験を通して自信や人脈を得ていたこともあり、かねてからの夢であったカフェ経営実現に向けて、第一歩を踏み出すことにしました。

実家の空き店舗利用については最初から決まっていたわけではなく、いくつかの物件を検討するなかでの選択だったといいます。「父は最初からここでやればと言っていたのですが、私はこんなところには人は来てくれないと思っていました。でも、いろいろ考えていくうちに、商店街が寂れていくのを黙って見ているのはもったいないと思いはじめたんです。誰もやらないなら私がやってやる、という気にもなってきた」と横川さん。



店内カフェスペース

商店街にも人を呼べることを確信

場所が決まってからは、友人たちに手伝ってもらいながらコツコツと店舗の改修に取り掛かりました。商店街の古い雰囲気を出したくて、アンティークな床材などをネットで購入し、自分たちで貼ったりもしました。その頃知人に教えてもらったのが、応援ファンドです。もちろん自己資金は準備しての起業でしたが、ファンドの助成は夢の実現を力強くサポートしてくれました。「何かをしたくても思いだけでは実現できません。資金面だけではなく、ハンズオン支援で税務関連の指導をしていただけたのもありがたかった。また、採択を受けた同期の方たちと、地域を超えて広くお知り合いになれたこともよかったです」。

約1年半かけて完成した「まいまい堂」は、12月24日に待望のオープン。その後、年明け頃からお客さんが急激に増えはじめ、横川さんも驚くぐらいの人氣が春頃まで続きます。特に積極的な宣伝はしていないのに、一人では対応しきれないほどの来客。これはお客様がブログなどいろ

ろな方法で情報発信してくれたこと、そして口コミのおかげだと分析します。そして「商店街でも人が来るんだ」と確信を持ったといいます。



クッキーなど手づくりのお菓子類

“てんてこまいまい”をまち全体に

ケーキ、タルト、クッキーなど、カフェ「まいまい堂」のお菓子は、国産や地元産、オーガニックにこだわった材料を使用して、丁寧に手づくりされています。コーヒー、紅茶は、フェアトレードのオーガニック製品。自分でつくれるものはできるだけつくるという主義のもと、クリームソーダのシロップやアイスまでもが横川さんの手づくりです。また、フェアトレード雑貨や地元作家の作品なども販売。店内には横川さんのお人柄そのままのような、ナチュラルであたたかな雰囲気が満ちています。

現在はオープン当初の賑わいも落ち着き、日曜日出張イベント、月曜日は休息、という無理のないペースで順調に運営していける、程よい状態が保たれているそうです。お客さんも地元の方を中心に、カフェ好き若い方はかなり広範囲からも来られています。しかし横川さんが最終的にめざしているのは、商店街にもっとお店が増えること。人が集い、活気が生まれる。それが商店街全体、まち全体に広がって、みんなが“てんてこまいまい”でやっていけたらいいなと、横川さんは願っています。

事業概要

まいまい堂  
http://1st.geocities.jp/tentecomaimaido/  
代表：横川知子  
業種：カフェ（菓子製造販売・喫茶店経営・物品販売）  
創業：平成20（2008）年  
住所：〒620-0029 福知山市下新26  
TEL：0773-22-4686 FAX：0773-22-4686